令和元年第2回基山町議会（臨時会）会議録（第1日）						
招集年月日	令和元年11月5日					
招集の場所	基山町議会議場					
開閉会日時	開会	令和元年11月5日	9時30分	議長	品川義則	
及び宣告	閉会	令和元年11月5日	11時29分	議長	品川義則	
応（不応） 招議員及び 出席並びに 欠席議員 出席13名 欠席0名	議席 番号	氏 名	出席等 の 別	議席 番号	氏 名	出席等 の 別
	1番	中村 絵理	出	8番	河野 保久	出
	2番	天本 勉	出	9番	重松 一徳	出
	3番	松石 健児	出	10番	鳥飼 勝美	出
	4番	大久保 由美子	出	11番	大山 勝代	出
	5番	末次 明	出	12番	松石 信男	出
	6番	栗野 久明	出	13番	品川 義則	出
	7番	久保山 義明	出			
会議録署名議員	7番	久保山 義明		8番	河野 保久	
職務のため議場に 出席した者の職氏名	(事務局長) 藤田 和彦		(係長) 長野 周次		(書記) 西村 美香子	
地方自治法 第121条 第1項に より説明の ため出席 した者の 職氏名	町 長	松田 一也	まちづくり課長	井上 信治		
	副町長	酒井 英良	建設課長	古賀 浩		
	教育長	柴田 昌範	会計管理者	酒井 智明		
	総務企画課長	熊本 弘樹	教育学習課長	井上 克哉		
	財政課長	平野 裕志	産業振興課参事	山本 賢子		
			産業振興課農林業振興係主幹	加藤 浩彰		
議事日程	別紙のとおり					
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第39号 基山中学校校舎大規模改造工事（管理棟）請負契約について
- 日程第4 承認第4号 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度基山町一般会計補正予算（第4号））
- 日程第5 議案第40号 令和元年度基山町一般会計補正予算（第5号）

～午前9時30分 開会～

○議長（品川義則君）

ただいまの出席議員数は13名で定足数に達しておりますので、本日の会議は成立いたしました。

これより令和元年第2回基山町議会臨時会を開会します。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（品川義則君）

日程第1. 会議録署名議員の指名を議題とします。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、久保山義明議員と河野保久議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○議長（品川義則君）

日程第2. 会期の決定を議題とします。

お諮りします。会期は、本日1日間と決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定しました。

日程第3～5 議案第39号、承認第4号、議案第40号

○議長（品川義則君）

日程第3. 議案第39号、日程第4. 承認第4号、日程第5. 議案第40号を一括議題とします。

この際、朗読を省略し、これより提案理由の説明を求めます。松田町長。

○町長（松田一也君）（登壇）

おはようございます。それでは、令和元年第2回臨時会に付議いたします議案について提案理由の御説明を申し上げます。

今回は工事請負契約案件1件、専決処分承認案件1件、予算案件1件を上程いたしております。

それでは、順次、提案理由について説明いたします。

まず、議案第39号 基山中学校校舎大規模改造工事（管理棟）請負契約についてござい

ます。

基山町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、令和元年10月25日、指名競争入札に付した基山中学校校舎大規模改造工事（管理棟）について、請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

詳細につきましては、担当課長より説明いたします。

次に、承認第4号 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度基山町一般会計補正予算（第4号））でございます。

本年8月の豪雨及び9月の台風による災害等に伴い、一般会計の予算に補正が急務であるため、令和元年10月3日付で行った専決処分の承認を求めるものでございます。

詳細につきましては、担当課長より説明いたします。

次に、議案第40号 令和元年度基山町一般会計補正予算（第5号）についてでございます。

今回、補正予算として2億2,179万2,000円の増額をお願いしております。これを現計予算と合わせますと、一般会計予算総額は、歳入歳出とも78億131万5,000円となります。

補正予算の主なものにつきましては、ふるさと応援寄附基金費及び林道施設災害復旧工事の増額をお願いいたしております。

詳細につきましては、担当課長より説明いたします。

以上、御審議賜り、御可決いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（品川義則君）

以上で町長の提案理由の説明が終わりましたので、次に担当課長の詳細説明を求めます。

議案第39号の詳細説明を求めます。井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

それでは、議案第39号 基山中学校校舎大規模改造工事（管理棟）請負契約について御説明させていただきます。

当該案件につきましては10月25日に指名競争入札を行っております。入札には4者が参加し、鳥飼建設株式会社が1億9,500万円で落札をいたしました。

なお、議案にあります請負代金額2億1,450万円は、落札額に消費税を加えた金額でございます。

履行期間については、本契約締結の翌日から令和2年3月26日までとなっております。

それでは、議案資料をつけておりますので、資料の1ページから6ページまでをごらんいただきたいと思っております。

まず、1ページですけれども、1ページには建設工事請負仮契約書の写しをつけさせていただいております。

2ページをお願いいたします。

2ページには基山町入札成績表をつけさせていただいております。こちらの4者による入札の結果、鳥飼建設株式会社が落札をされております。

3ページをお願いいたします。

3ページからは図面のほうをおつけしております。3ページは全体の工事図でございます。工事につきましては、全面改修をする部分と部分改修をする部分、それから設備改修をする部分に分けて図示をしております。

次に4ページをお願いいたします。

4ページでは1階の平面図のほうをおつけしております。この中で、今回工事を行う部分の施工範囲を示させていただいております。

5ページをお願いいたします。

5ページには立面図をつけさせていただいております。今回の工事の屋外については、屋根のふきかえ、外壁のクラック補修、防水塗装を行うようにいたしております。

6ページをお願いいたします。

6ページは改修後の特別教室平面詳細図をつけております。こちらは3ページにつけております改修工事の詳細について記載しているものでございます。

以上で詳細説明を終わらせていただきます。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（品川義則君）

次に、承認第4号の詳細説明を求めます。平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

それでは、承認第4号 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度基山町一般会計補正予算（第4号））について説明を申し上げます。

議案書2ページと3ページをお願いいたします。

まず、専決理由といたしましては、本年8月の豪雨及び9月の台風による災害等に伴い、

一般会計の予算に補正が急務となったためでございます。地方自治法第179条第1項に規定されておりますように、議会を招集する時間的余裕がありませんでしたので、10月3日付で専決処分を行わせていただいております、その承認をお願いするものでございます。

議案書4ページをお願いいたします。

この補正予算につきましては、歳入歳出ともに既定の予算総額に300万円を追加し、総額をそれぞれ75億7,952万3,000円とするものでございます。

5ページをお願いいたします。

第1表 歳入歳出予算補正でございます。

歳入につきましては、17款. 繰入金に300万円の増額をお願いしております。

6ページをお願いいたします。

歳出につきましては、6款. 農林水産業費に89万1,000円、7款. 商工費に8万3,000円、10款. 教育費に51万2,000円、11款. 災害復旧費に187万円の増額をお願いし、14款. 予備費を35万6,000円減額することで調整を図らせていただいております。

次に、内容につきまして事項別明細書により説明をさせていただきます。

事項別明細書の3ページをお願いいたします。

17款. 繰入金、1項. 基金繰入金、2目1節. 財政調整基金繰入金に300万円の増額をお願いしております。

次に、歳出でございます。4ページをお願いいたします。

6款. 農林水産業費、1項. 農業費、3目. 農業振興費、12節. 役務費に体験農園のプレハブ撤去手数料として44万円の追加をお願いし、18節. 備品購入費ではかわりの物置を購入するために45万1,000円の追加をお願いしております。

5ページをお願いいたします。

7款1項. 商工費、2目. 観光費、12節. 役務費に基山駅前の観光看板撤去手数料として8万3,000円の追加をお願いしております。

6ページをお願いいたします。

10款. 教育費、3項. 中学校費、1目. 学校管理費、11節. 需用費に修繕料43万5,000円の増額をお願いしております。体育館の波板修繕及び漏水が発生いたしました消火用配水管修繕に係るものでございます。

7ページをお願いいたします。

4項. 社会教育費、5目. 文化振興費、11節. 需用費に修繕料7万7,000円の追加をお願いしております。町民会館電波障害対策用のアンテナ修繕に係るものでございます。

8ページをお願いいたします。

11款. 災害復旧費、2項1目. 公共土木施設災害復旧費、11節. 需用費に黒目牛地区水路の修繕料として35万円の増額をお願いしております。12節. 役務費では、土砂等撤去手数料152万円の増額をお願いしております。小松・古屋敷2号線、駄置線などの町道の土砂撤去、そのほか公園の散乱した枝葉などの撤去に係るものでございます。

9ページをお願いいたします。

14款. 予備費でございます。35万6,000円を減額し、調整を図らせていただいております。

以上で令和元年度基山町一般会計補正予算（第4号）についての説明を終わらせていただきます。よろしく御審議いただき、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（品川義則君）

次に、議案第40号の詳細説明を求めます。平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

続きまして、議案第40号 令和元年度基山町一般会計補正予算（第5号）について説明をさせていただきます。

議案書7ページをお願いいたします。

この補正予算につきましては、予算総額に歳入歳出それぞれ2億2,179万2,000円を追加し、予算総額を78億131万5,000円とするものでございます。

議案書8ページをお願いいたします。

第1表 歳入歳出予算補正でございます。

まず、歳入につきましては、14款. 県支出金に1,449万2,000円、16款. 寄附金に2億円、17款. 繰入金に600万円、20款. 町債に130万円の増額をお願いしております。

9ページをお願いいたします。

歳出につきましては主なものを申し上げます。

2款. 総務費に1億9,996万円、11款. 災害復旧費に2,078万4,000円の増額をお願いし、また、14款. 予備費を39万9,000円増額することで調整を図らせていただいております。

10ページをお願いいたします。

第2表 地方債補正でございます。

林道一の坂・河内線の災害復旧に係るものとして農林施設災害復旧事業に130万円の増額をお願いしております。充当率90%でございます。

それでは、内容につきまして事項別明細書で説明をさせていただきます。

事項別明細書3ページをお願いいたします。

歳入でございます。

14款. 県支出金、2項. 県補助金、8目. 災害復旧費県補助金、1節. 農林水産施設災害復旧費補助金に林道一の坂・河内線の災害復旧に係るものとして林道施設現年発生災害復旧費補助金1,333万1,000円の増額をお願いし、また、林道岩坪線の災害復旧に係るものとして林道施設過年発生災害復旧費補助金116万1,000円の増額をお願いしております。

4ページをお願いいたします。

16款1項. 寄附金、3目1節. 総務費寄附金では、現在の申し込み状況を勘案し、ふるさと応援寄附金2億円の増額をお願いしております。

議案資料の11ページにふるさと応援寄附金の申し込み状況を掲載しておりますので、お目通しをお願いいたします。

5ページをお願いいたします。

17款. 繰入金、1項. 基金繰入金、2目1節. 財政調整基金繰入金に600万円の増額をお願いし、財源調整を図らせていただいております。

6ページをお願いいたします。

20款. 町債につきましては、第2表 地方債補正で御説明をさせていただいたとおりでございます。

7ページをお願いいたします。

歳出でございます。

2款. 総務費、1項. 総務管理費、13目. ふるさと応援寄附基金費でございます。歳入の増額にあわせまして、8節. 報償費に8,992万4,000円、13節. 委託料に1,755万6,000円、25節. 積立金に8,912万2,000円などの増額をお願いしております。

議案資料の12ページにふるさと応援寄附基金費の内訳を掲載いたしておりますので、お目通しをお願いいたします。

10ページをお願いいたします。

11款. 災害復旧費、1項. 農林水産施設災害復旧費、2目. 林業施設災害復旧費、3節.

職員手当等に時間外勤務手当277万7,000円の増額をお願いし、15節. 工事請負費では林道一の坂・河内線に係る林道施設災害復旧工事1,629万3,000円、林道岩坪線に係る林道施設過年災害復旧工事120万円、合わせて1,749万3,000円の増額をお願いしております。

12ページをお願いいたします。

4項. 文教施設災害復旧費、2目. 社会教育施設災害復旧費では、事業費の組み替えをお願いしております。15節. 工事請負費、基肄城跡災害復旧工事を394万9,000円減額し、同額を13節. 委託料に基肄城跡水門周辺災害復旧工事設計業務委託料として追加をお願いしております。これは来年度に実施を予定する水門周辺の復旧に係るものでございます。

13ページをお願いいたします。

14款. 予備費でございます。今回39万9,000円を増額し、調整を図らせていただいております。

以上で令和元年度基山町一般会計補正予算（第5号）の説明を終わらせていただきます。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（品川義則君）

詳細説明が終わりましたので、ここで10時10分まで休憩いたします。

～午前9時48分 休憩～

～午前10時10分 再開～

○議長（品川義則君）

休憩中の会議を再開します。

議案第39号 基山中学校校舎大規模改造工事（管理棟）請負契約についてを議題とし、本案に対する質疑を行います。大久保議員。

○4番（大久保由美子君）

まず、1ページの中でということではないんですけど、平成29年度には教室棟を改修されましたよね。そのときに、資料を見ていましたら工程表等も出ておりました。また、そのときは、たしか普通教室だったから、夏休みに集中的に修理というか、改造のほうに向けるというような説明もございました。

今回は管理棟ということですけど、工程表をどのようにされているのかと、幾ら管理棟とはいえ、何か支障はないものでしょうか、そこら辺を説明ください。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

今回、管理棟の工事ということで11月から工事のほうに入っておりますけれども、標準工期としては8カ月ほどかかりますが、その中で、まず2階部分を行いまして、それから3階、1階という形で行っていきます。その中で教室棟の移動等を行う部分もございますけれども、そこは職員室とか校長室、そういった部分は業務に支障のないように、それから特別教室の移動についても学科等カリキュラムの部分に支障がないような形で、工事と授業を進める部分については十分配慮をしながらやっていくように考えております。

○議長（品川義則君）

大久保議員。

○4番（大久保由美子君）

ということで、工程表を提出される予定はないのでしょうかね。

それともう一点、ここは技術室ですか、そういうのが別棟にございますよね。そこは前回も改修されませんでしたけど、今回もその予定が入っていませんが、この技術棟については今後どのようにされる予定ですか。また、なぜ今回もされないのでしょうかね。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

技術棟については、今回改修の範囲には入っておりません。今回はまず管理棟のみということでの改修工事を行うようにしております。部分的に技術棟のほうも改修は行っておりますけれども、今後、その部分で現在使用については特に問題はないかと思っておりますので、まだこの部分については修繕等で対応しながらやっていきたいというふうに考えております。

○議長（品川義則君）

古賀建設課長。

○建設課長（古賀 浩君）

建設工事に関する工程表につきましては、特別教室というところで多くの学年で利用する部分がございますので、その辺の調整の後に、後日提出をさせていただければと思っております。学校との調整の後に工程表の提出をさせていただければと思っております。

○議長（品川義則君）

松石信男議員。

○12番（松石信男君）

1つ確認ですけれども、この請負代金は資料2ページを見てみると、消費税は8%ということになるわけですか。資料2ページの注2のほうに書いてあるんですけども、この説明をしてください。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

この消費税は10%でございます。注2のほうに表記がございますのは、履行期限が令和元年9月30日以前で終わる分については8%ですと、そういうふうに読みかえてくださいというふうな表現ですので、今回の工事案件につきましては、消費税は10%でございます。

○議長（品川義則君）

久保山議員。

○7番（久保山義明君）

ちょっと1つ確認させてください。

今回、議案名なので、多分、法令の総務企画課長にお答えいただいたほうがいいのかもしれませんが、大規模改造工事ということで大規模というふうに示すときの定義、基準というのがあるのかどうか。それと今回、改築、改修ではなくて改造にされた理由を教えてください。

○議長（品川義則君）

熊本総務企画課長。

○総務企画課長（熊本弘樹君）

まず、この名称そのものは補助事業の名称を使わせていただいているというふうに考えております。そこに当該施設である基山中学校と、そして具体的に工事を実施させていただく管理棟ということでの表現をさせていただいているというふうに考えております。

○議長（品川義則君）

久保山議員。

○7番（久保山義明君）

ということは、補助事業を提案というか、出した際にこの名称で出されたということだと

思うんですけども、それに当たって大規模というふうな名称の定義、それと改造にされた意味合い、この辺というのは教育学習課長のほうでわかりますか。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

文科省の補助事業のメニューの中で、学校の増改築、改修工事、そういった部分のメニューがございますけれども、その中で、ある程度規模の大きな補修工事といった場合には大規模改造というような形で補助事業のほうがありますので、今回は補助事業名をそのままつけさせていただいているところです。

○議長（品川義則君）

久保山議員。

○7番（久保山義明君）

例えば、資料を見させていただくと改造という言葉は一切出てこなくて、あと全部、改修なんですよね。そういった意味では、改造と改修の違いというのがどこにあるのかがわかりづらいですよね。要するに補助メニューの中の文言であれば、それは仕方ないかなと思うんですけども。であるならば、例えば、資料の4ページあたりにも、改造済み部分とか改造箇所とか、そういった表現のほうがよくったんではないかなと思うんですけども。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

資料の項目名としましては、議案に合わせて大規模改造工事というところで記載をさせていただいております。その中でこのあたり、例えば6ページでいえば、改修後というふうな文言を使っておりますけれども、こちらの部分については細かい中身の内容ということで、こういった書き方をさせていただいておりますけれども、今後、資料を提出する際にはわかりやすい形での文言の使い方を心がけていくようにしたいと思います。

○議長（品川義則君）

ほかに。鳥飼議員。

○10番（鳥飼勝美君）

中学校の大規模、ようやく改修をなされて非常に喜ばしいことと思います。これで基山町

の公共施設等総合管理計画に基づく教育施設の改修というのは相当進んでいると思いますが、今後、教育施設として総合管理計画にのっとって整備計画をされる予定なり時期とか、そういう計画は立ててありますか。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

今後、学校施設等の大規模改造の部分については、まず基山中学校でいえば体育館のほうが大規模な改造工事の対象となってきます。また、若基小学校についても建築後30年近くになりますので、今後、状況を見きわめながら改修計画のほうを立てていくように予定をしております。

○議長（品川義則君）

鳥飼議員。

○10番（鳥飼勝美君）

予算がついたからことしやります、来年やりますというふうになってはいますが、ひとつやっぱりこういう公共施設、いろんな施設がありますが、これについては整備計画を事前に策定されて、教育長は今度鳥栖から来られ、恐らく鳥栖あたりは基山の5倍も6倍も教育施設に関して毎年こういう整備計画にのっとった整備をされておるといいます。基山の場合の中長期といいますか、今言われた体育館も余りですね、この体育館が整備されて、体育館なり若基小学校なりもろもろと思います。そういうのは年度別なり何年度にどういう施設をすると、それについて予算どうと、そういう教育施設の整備計画を策定すべきと私は思っておりますので、来年中なりことしじゅうなり、そういう整備計画を策定して年次別に整備を進めていただきたいと思いますけれども、課長、お考えをお願いします。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

大規模改造について、先ほど申しました基山中学校の体育館とか若基小学校については、今後そういった改修の計画をつくっていくように、今検討しながら準備をしているところでございます。

○議長（品川義則君）

河野議員。

○8番（河野保久君）

若基小学校との関連なんですけれども、要は、体育館も中学校の大規模改修工事と考えるんですか。その体育館が終わってから若基小学校ということになるんですか。その辺の順序というのがわかれば。何か話では、ざっくり聞くと、中学校の大規模改修工事が終わったら、次は若基小学校ですよというようなことで、若基小学校校区の父兄の方は認識されております。だから、中学校の大規模改修工事というのが体育館のものまで入るのかどうか。先ほど鳥飼議員もおっしゃいましたけど、ある程度計画を立てていただいておりますと、いつまで待たうらいんかいなというようなこともあるので、その辺を早急に検討していただければと思うんですけど。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

建築年数からしても、基山中学校のほうが若基小学校より早く建築のほうがされていますし、体育館については、またさらに中学校の建てかえ以前からあるものでございますので、順序としては、中学校の体育館から若基小学校の大規模改修という形になるかと思えます。

○議長（品川義則君）

ほかに。中村議員。

○1番（中村絵理君）

先ほど鳥飼議員がおっしゃった整備計画を立てるべきだというふうなお話の件なんですけれども、中学校の体育館についても実質50年ぐらいはたっているんじゃないかと思うんですね。この間の文化祭にお邪魔した際も、体育館の遮光カーテンとか、そういったものも本当にすり切れるような状態で、皆さん大事にお使いになっていらっしゃるんですが、これは何とかしなければならぬんじゃないかと思ったぐらい、体育倉庫も含めまして、私が小学校5年生ぐらいのときのものでそのまま残っております。ですので、そういった計画を立てつつ、やはり子どもたちのためにも何とかしていただけたらなというふうに思っている次第ですが、いかがでしょうか。

○議長（品川義則君）

審議の内容がずれてきておりますので、これを最後にして審議に戻っていただきたいと

思っております。

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

大規模改造については、今後、計画を立てながら実施のほうをしていきます。先ほど申されたような、部分的な備品でありますとか、そういった部分の修繕であったり取りかえであったりというのは適切に行っていきたいというふうに考えています。

○議長（品川義則君）

ほかにございませんか。大山議員。

○11番（大山勝代君）

済みません、細かいことをお聞きします。

資料の3ページです。全体図があります。色分けされています。全面と部分と、それから設備、LEDですね。例えば、壁を改修しないというのが部分ですね。幾つか壁をしないというところがありますけれども、それは、例えばPTA室と生徒会室、隣同士で、何で生徒会室の壁は改修しないのか。それともう一つは、教材室を改修しないというのは何とかなくわかるんですけれども、放送室は、なぜ改修がLEDだけなのかお聞きします。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

今回、大規模改造工事を行うに当たって、設計のほうを先に行っているわけですが、その中で、部分的改修で済む部分、それからやはり全面的に改修を行ったほうがいい部分というのがありますので、現在の状況等も勘案して、補修について必要な部分をやっていくという形で予定をしております。

○議長（品川義則君）

栞野議員。

○6番（栞野久明君）

今の質問の関連なんですけど、外周の部分は、たしか2年ほど前にクラックの関係でそういったやつの足場を組んで調査をされて、それで設計されたと思うんですが、内装の部分の判断基準、要するにどなたが基準に沿ってチェックしたのか、していないのか、そこら辺をもう少し説明をお願いします。

○議長（品川義則君）

古賀建設課長。

○建設課長（古賀 浩君）

まず、学校の全体的な老朽度の確認を1級建築士のほうで——済みません、年度のほうは手元に持っておりませんが、以前行っております。そこで総額的な大規模改造、基山中学校についてチェックをしております。基準は、文部科学省のほうが出しております学校の大規模改造、あるいは学校環境の整備の指針等ございますので、それを参考にそういった調査をしております。

○議長（品川義則君）

栗野議員。

○6番（栗野久明君）

基準についてはわかりました。

あともう一点なんです、6ページの中は、塩ビのシート張りかえとか、または手洗いの部分の水洗の金具取りかえとか、物の取りかえとかの部分がありますよね。はっきりわかるんですが、あと、移動とかそういったやつが入っていますよね、家具とか、そういったのは今回作業をするのに一旦移動しなきゃいけない、それも費用がかかるということで挙げられていると思うんですけど、そこら辺ちょっと説明をお願いします。

○議長（品川義則君）

古賀建設課長。

○建設課長（古賀 浩君）

議員おっしゃいますように机等、今回、特別教室はいろいろと固定式もありますので、それを動かして床の状況を確認するというのもございます。それで、床の整備を行うという形を考えておりますが、簡易的に移動できない部分がございますので、工事の中でそういった移動を含めた施工、あるいは確認等を行うようにしております。

○議長（品川義則君）

栗野議員。

○6番（栗野久明君）

そうしますと、家具、備品を移動して確認する部分があるということになりますと、実際、損傷ぐあいがあるひどかったら、またそこは補修を加えていく。要は、工事金額がふえたりする

ということはあるということでしょうか。

○議長（品川義則君）

古賀建設課長。

○建設課長（古賀 浩君）

現在、可視部、見えるところでさせていただいていますので、そういった施工の過程で悪いところがあれば、また検討してその辺も対応を考えたいと思っております。

○議長（品川義則君）

ほかに。松石健児議員。

○3番（松石健児君）

今回、税込みで2億円を超える非常に大きな改造工事ですけれども、建設課のほうに伺いますが、これまで基本的な規格にのっとり予算を挙げられていると思いますし、鳥飼建設のほうもその金額で落札をされていると思いますが、例えば近年、気温が上がってきている兼ね合いで屋根の断熱性の規格、あるいは大雨に関するといの幅なり大きさ、その辺とか、あと、耐震上で塗装の表面を樹脂化してある程度クラックが起こりにくくするとか、そういった国の今までの標準から変わってきているような規格の変更というのはございますでしょうか。

○議長（品川義則君）

古賀建設課長。

○建設課長（古賀 浩君）

特にそういった基準が変わっているということはないと思います。ただ、先ほど言われましたように、環境の変化等に対する技術的な部分は進んでおりますので、それは現状の調査把握の中で、どれを改修の候補に採択するかというのは基準内から外れるものではございませんので、あくまでもそういった在来の最適な基準を用いまして、それと経済性等の比較を行いまして決定しておりますが、やはりどうしても民間の基準が先行しますので、ないから使っていないというわけではございません。

○議長（品川義則君）

ほかにありませんか。重松議員。

○9番（重松一徳君）

請負契約そのものについて疑義があるわけではありません。1つは契約の方法なんですね。

今、基山町がしている入札のほとんどは指名競争入札になっているんじゃないかなと思っています。例えば、基山町に建設業者が10者も20者もいるという場合は、その中から一定程度選ばなければならないという場合に指名競争というのものもあるんでしょうけれども、私は今の基山町の建設関係の企業から見て、一定程度、この指名じゃなくて公募型の一般競争入札を採用する時期に来ているのかなというのが1点。今回、なぜ指名競争でしたのかという部分です。

それともう一つは、今は最低制限価格が落札率90%でされています。ということは、早い話が、競争する割合が10%しかないんですね。この場合は約2億50万円の予定価格、最低制限価格が1億8,045万円ですか、1割しかないという中で、本当の競争ができるのかというのが私は今ずっと疑問に思っています。

10月25日にこれとは別にほかの入札がありましたけれども、その中では、1つの業者が最低制限価格を下回る金額を出したという形で、その業者は最低制限価格よりも以下ですので失格になっているんですね。10%しかない中で、企業が、本当に自分の会社が、自分の技術、そして人材を含めて、いや、この金額で私のところは仕事ができますよと言った場合に、余りにもこの10%の幅は狭過ぎるんじゃないかと。もともと、この最低制限価格が設けられたのが、競争が激しくなって70%を下回るみたいな金額で出される場合があったもんだから、国のほうが最低70%というラインを設けて、それからずっと今上がって、90%まで来ているというのが、本当にこれでいいのかというのがありますけれども、この辺について町の見解をお願いいたします。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

まず、指名競争入札で行っておりますのは、以前からもお話に出ておりますけど、1つは佐賀県自体も取り組んでおりますローカル発注の観点で指名競争入札を行わせていただいております。もちろん、技術的にとかローカル発注で対応できないような部分は一般競争入札でやる場合もございますけれども、そういったことを除いては、基本的にはローカル発注で、指名競争入札でやっていくということで考えております。

それと、最低制限価格の90%ということで、そこの競争の幅が10%しかないという見方も確かに、そういう見方ができるかとは思いますが、1つは、最低制限価格というのは

工事自体の品質の確保であったりとか、そこで働く方の労働条件の改善、確保といいますか、そういった趣旨で設定をされているものでもございますので、これまでも基山町としては佐賀県のやり方に準拠するような形でさせていただいておりますので、今後もそういった形で一定の工事の品質確保という観点から、工事に関しては最低制限価格という考え方でやっていきたいと考えております。

○議長（品川義則君）

重松議員。

○9番（重松一徳君）

町が求める一定の品質に製品を仕上げるために、確かにそういうのはあると思うんですね。私もそう思っています。もしそういうふうにするんだったら、基山町も今から先、公契約条例を制定——条例じゃなくても、規則でもいいんですけども、佐賀市が今取り組んでいる公契約の考えを基山町もしていくべきではないのか、そうすることによって、今、財政課長が言われた部分がきちとした形としてなるんじゃないかと。

今、基山町の入札を見れば、やっぱり契約率が高どまりになってきているというのは事実なんですね。それが私はだめと言っているわけじゃないんです。それは、あくまでも企業間の競争ですから。しかし、町がそういうふう to 一定程度の製品の成果を求めてしていく、そして、先ほど言われたように協力会社、下請の会社の労働条件までもこの90%というところに入っていくんだというふうな考えでしたら、私はぜひ公契約条例、規則の検討をしてもらいたいというふうに思います。回答もお願いします。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

そうですね、公契約の条例なり規則なりの制定に関しては、確かに議員おっしゃったように、県内では佐賀市だけだと思います。なかなか広まってきていないという現状があると思いますので、基山町のほうとしてもここは今後も研究していく必要があるかと思っておりますけれども、今早急にこれをつくっていかうというところは今のところは考えておりません。ただ、状況を見ながら研究していく必要はあると考えております。

○議長（品川義則君）

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

ないようですので、議案第39号に対する質疑を終結します。

次に、議案第39号に対する討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

ないようですので、討論を終結します。

議案第39号を採決します。

本案を原案どおり決するに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（品川義則君）

全員起立と認めます。よって、議案第39号は可決されました。

次に、承認第4号 専決処分承認を求めることについて（令和元年度基山町一般会計補正予算（第4号））を議題とし、本案に対する質疑を行います。

議案書の2ページをお開きください。ありませんか。大久保議員。

○4番（大久保由美子君）

細かいことで申しわけないんですけど、説明だけでいいです。看板撤去手数料の駅前の看板……

○議長（品川義則君）

今、議案書の2ページです。（「済みません」と呼ぶ者あり）

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

議案書の5ページ、第1表 歳入歳出予算補正、歳入の分。ございませんか。松石信男議員。

○12番（松石信男君）

専決処分書のことでちょっとよかろうか。

○議長（品川義則君）

承認第4号です。

○12番（松石信男君）

300万円ということになっていて、事業内容もわかるわけですが、今回の臨時議会に専決処分せんでも出せたんじゃないかというふうに私の感覚では思うんですけど、その辺はどうなんだろうかね。10月3日に専決処分して早急に工事を始めたいということだったろうとは思いますが、この工事内容から見て、1カ月待ってもよかったんじゃないかというふうに私は思うので、その辺の見解をひとつお願いしたいと思います。

それからもう一つが、この8月、9月と、豪雨と台風ということですがけれども、新聞報道によりますと、基山町は災害の内容について県に報告をしていないというような報道が——これはあくまで佐賀新聞の報道ですがけれども、9月19日の佐賀新聞の報道では報告していないということなんですけど、災害については大小を問わず県に報告されているだろうと思うんですよね。ところが、この報道が正しいかどうかは、ちょっとわかりませんが、それについて教えていただきたい。

それから、最後に3つ目ですがけれども、台風19号は基山町に来なかったというか、避けていったので、助かったわけですがけれども、そこの中で非常に問題になったのが、河川の堤防が崩れるという形で、浸水想定区域にいろいろ問題があったんじゃないかと私は思っています。今回、基山町がつくったハザードマップは台風19号並みのあれは想定されているというふうに見ていいんでしょうか。

○議長（品川義則君）

松石信男議員、3問目は補正予算から外れていませんか。よろしいですか。

○12番（松石信男君）

はい。

○議長（品川義則君）

じゃ、1番、2番。

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

この承認をお願いしております4号の補正につきましては、実際、専決処分をさせていただいたのが10月3日でございます。この中では工事とかそういうものではなく、実際、特に9月22日、23日にかけてやったですか、台風の影響が大きかったと思いますけれども、要は土砂の撤去であったりとか、散乱している枝葉の撤去であったりとか、それから、プレハブに関しては倒壊とまではいきませんが、修理不能になるように傾いていたりとか、そう

いったふうなことで、すぐにやりたい分、逆に災害当日に実際動いている分というのがございましたので、そういうものは取り急ぎお支払いをしないといけない、業者をずっと待たせるわけにはいかないという状況がございましたので、10月の頭に専決処分をさせていただき、今回、臨時会を設定していただきましたので、この場で承認をお願いしているという状況でございます。

○議長（品川義則君）

県の報告。熊本総務企画課長。

○総務企画課長（熊本弘樹君）

議員おっしゃった部分は、多分、台風のときの防災関係からの報告の分で、記事に載った分かなということでお答えをさせていただくと、台風が過ぎ去った直後、その翌日ぐらいまでは特に災害とかの報告はございませんでしたので、防災担当としては特に被害はなかったということでお答えをしようと思っております。そういった中で、数日たって、実際山のほうに入ったときに、特に林道がひどかったようでございますけれども、林道のほうがもともと昨年度に査定を受けとったところに増破がされて、改めて追加をして査定を要求したりする部分が出てきたということで、そのタイムラグの部分での掲載ということではないかというふうに思っております。

○議長（品川義則君）

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

6ページ、歳出の分です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

次に、事項別明細書に入ります。

歳入、3ページ、17款1項2目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

歳出に入ります。

6款1項3目。末次議員。

○5番（末次 明君）

こちらのほうの家庭菜園のプレハブの撤去料と、それから備品の購入だけですけれども、プレハブの撤去料とほぼ同額の物置ということになると、そんなに大きい物置じゃないんですが、これは新品なのでしょうか、大きさは大体どれぐらいなのでしょう。

○議長（品川義則君）

加藤産業振興課農林業振興係主幹。

○産業振興課農林業振興係主幹（加藤浩彰君）

物置を考えておまして、10平米程度を予定しております。なぜかといいますと、10平米を超えますと建築確認の申請等が発生しますので、また別の費用がかかったりしますので、それを考えております。

○議長（品川義則君）

末次議員。

○5番（末次 明君）

近年、大きい台風が来ておるので、今回の台風は超大型でしたが、まだ直撃じゃなかったもので、あれぐらいで済んだと思うんですけれども、今後もまたこういうふうな台風が来るといことは予想されます。物置をぼんと置いただけでは飛んでいく可能性もあります。特に家庭菜園の中に入るものといったら、くわ、それからスコップ、あとは鎌とか、飛んでいくと危険なものがあるんですけど、そのあたりが飛んでいかないような対策というのは考えてあるのでしょうか。

○議長（品川義則君）

加藤産業振興課農林業振興係主幹。

○産業振興課農林業振興係主幹（加藤浩彰君）

アンカー工事等を考えておまして、風対策のところもきちんとやるようになっております。

○議長（品川義則君）

末次議員。

○5番（末次 明君）

それと、基山町は、ほかにもプレハブとか、あるいは単なる物置をぼんと置かれているところがあると思うんですけれども、仮にここの備品についてはSGKを通じて管理をされて

いるんですが、ふだんからそういうふうな物置、プレハブ等の安全性というのは確認されているのでしょうか。総務企画課長、いかがでしょうか。

○議長（品川義則君）

熊本総務企画課長。

○総務企画課長（熊本弘樹君）

プレハブ等で簡易に設置している部分については、基本的には、先ほど加藤主幹のほうも申し上げましたけれども、アンカーを打ったりとかワイヤーを張ったところで、そういった台風では飛ばないように防止には心がけておるところでございます。

○議長（品川義則君）

松石健児議員。

○3番（松石健児君）

私も、末次議員と関連なんですけれども、プレハブとか物置じゃなくて、今後もなんですけど、JRとかが使われているコンテナ、あの辺も強度面では台風とかでも飛ばされるということはないでしょうし、耐火面も非常にすぐれていると思うし、値段的にもプレハブと比べればさほど差異はないと思いますし、中古とかでしたら、逆に安価になる部分もあるんじゃないか。その辺は御検討になられたのかどうかということ、とりあえず1点。

○議長（品川義則君）

加藤産業振興課農林業振興係主幹。

○産業振興課農林業振興係主幹（加藤浩彰君）

一応その分のコンテナとかも検討はいたしましたんですけれども、コンテナになるとやっぱりどうしても10平米を超えたりする部分のものが多かったでするので、そうなると、中で人が入ってすると基礎の工事が絶対必要になるわけなんですよね。ですので、建築確認申請等が必要になるので、できるだけお金を使わないでやる方法としたときに、物置というので一応考えたということになります。

○議長（品川義則君）

松石健児議員。

○3番（松石健児君）

コンテナのロングは、たしか10平米を超えますけれども、ショート丈のサイコロ的な大きさのやつ、ああいうものだったら10平米は切ると思いますし、物置としてもちょう

どいいぐらいの大きさだと思います。

ただ、ユニック車でつるすなりするので、搬入場所というのが限られてくるかと思いますが、今後のいろんな災害あるいは台風等の対策としては、プレハブあるいは物置とかよりも安全面、強度面からすると大変有効なものじゃないかなと思いますので、ぜひ今後はその辺もひとつ御検討していただければと思います。要望です。

○議長（品川義則君）

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

7款1項2目。松石信男議員。

○12番（松石信男君）

駅前の観光看板の撤去ということですがけれども、これは駅前に大きい看板があったですよ。あのことだろうと思うんですよね。ここに何かあるとか施設があるとか、これは撤去されるんですけど、設置はしないということなんですか。その辺はどうなっていますか。

○議長（品川義則君）

山本産業振興課参事。

○産業振興課参事（山本賢子君）

この基山駅前の観光看板といいますのは、基山駅ロータリーの南東側の入り口のところに立っておりました「ゆとりランドき・や・ま」というふうに書いておりました観光看板でございます。もう随分古いものでして、台風、先ほどからお話にあっています9月22日の夜にかなり風が強かった関係で……

○議長（品川義則君）

参事、答弁を的確にお願いします。

○産業振興課参事（山本賢子君）

倒壊いたしました看板を撤去いたしまして、新しい看板としましては、今、散策マップというような形で近くに既に設置をしておりますので、新たな設置は現在は考えておりません。

○議長（品川義則君）

よろしいですか。ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

6 ページ、10款 3 項 1 目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

10款 4 項 5 目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

11款 2 項 1 目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

14款 1 項 1 目、予備費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

ないようですので、承認第 4 号に対する質疑を終結します。

次に、承認第 4 号に対する討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

ないようですので、討論を終結します。

承認第 4 号を採決します。

本案を原案どおり決するに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（品川義則君）

全員起立と認めます。よって、承認第 4 号は承認と決しました。

次に、議案第 40 号 令和元年度基山町一般会計補正予算（第 5 号）を議題とし、本案に対する質疑を行います。

議案書の 7 ページをお開きください。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

8 ページ、第 1 表 歳入歳出予算補正の歳入の分です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

9ページ、歳出。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

10ページ、第2表 地方債補正。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

次に、事項別明細書に入ります。

3ページをお開きください。

歳入、14款2項8目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

16款1項3目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

17款1項2目。久保山議員。

○7番（久保山義明君）

第4号で聞いてもよかったですけれども、財政調整基金繰入金のほうなんですけど、資料の8ページ、基金の状況があります。現在の財政調整基金3億958万6,000円、この数字について、町長の見解をよろしければお聞かせください。

○議長（品川義則君）

松田町長。

○町長（松田一也君）

見解といいますのは、この金額が多いか少ないかということですか。（発言する者あり）それは当然ながら、少しでもふやしたいところではございますが、今まさにいろいろな事業に手をつけておるところなので、この金額ぐらいでやむを得ないと思っております。ただ、当然ながら、いつ何があるかわからないわけですから、財政調整基金の金額はより積み増せることができるのが望ましいと思っておりますので、そういう考え方を持ってこれからもやっ

ていきたいというふうに思っております。

○議長（品川義則君）

久保山議員。

○7番（久保山義明君）

それでは、さまざまな事業の中で財調を使う部分もあるし、ふるさと応援寄附基金を取り崩す場合もあります。

財政課長にお尋ねします。この使い分け、1つの何らかの基準があるのかどうか、そのあたりをお聞かせください。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

まず、ふるさと応援寄附金に関しましては、これまで使ってきた形からいくと、例えば、まちづくりに資するような事業であったりとか、去年は災害も大きかったですので、災害にもふるさと応援寄附金を充ててきたという状況はございます。財政調整基金に関しては基本的に一般財源ですので、財源調整という意味で財源が不足するときにその財源として活用を図っているという状況でございます。

あと、さっき出ませんでしたけど、公共施設の整備基金に関しては、いろんな公共施設のちょこちょこした修繕に充てることは余りありませんけれども、大きな改修であったりとか、そういったものに活用していく、基本的にはそういうふうな形で考えております。

○議長（品川義則君）

ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

6ページ、20款1項6目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

歳出に入ります。

2款1項13目。末次議員。

○5番（末次 明君）

ふるさと応援寄附基金費ですけれども、総務省のほうからいろいろと指導を受けた自治体
がございまして、そういうところが一旦停止になったり、あるいは期間を限定されたふるさ
と応援寄附金を受けるようなところもございしますが、基山町は幸いそういうところから外れ
てはおるんですけれども、今回、返礼品等ということで8,992万4,000円挙がっておりますが、
これは総務省が指導しております返礼品は3割未満、あるいは地場産品という形できちんと
守られているのでしょうか。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

総務省が地方税法まで改正して、法的にも考え方を明確にしてきた判断基準はクリアして
います。返礼品の物代としては3割以下、ただ、この8節の中には、品物代とあわせて発生
してきます送料が入っていますので、送料自体が消費税も上がりましたし、そもそも配
送料自体がここ一昨年ぐらいから上がっていますので、寄附額に占める送料の割合として
は恐らく12%ぐらい。なおかつ、基本、総務省が考えている送料は、ここからいくと首都
圏が多いですので、首都圏なんですけれども、実際、寄附者というのは首都圏ばかりではな
くて北海道の方もあれば沖縄の方もいる、そういったことで、なかなかきっちり12%とい
うのは難しい面があります。安く上がる場合もあるし、逆に足りない場合もありますので、そ
こら辺は、今後も状況を見ながら、予算のほうも必要に応じて組み替えをお願いしていく
というふうな形になると思います。

○議長（品川義則君）

末次議員。

○5番（末次 明君）

地場については。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

失礼しました。これも総務省が言っている考え方に沿っておりますので、地場産品とい
うことで捉えております。

○議長（品川義則君）

末次議員。

○5番（末次 明君）

あと、当初予算で大体5億円というのが2億円ふえるというのは、金額としては非常に大きいわけなんですけれども、これに至った要因としては、財政課長なんかはどういうふうにお考えなんですか。高額の自治体が受け入れられなくなったという形が一番大きな要因なんですか。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

正直、申し上げますと、そこははっきり明確にはわかりません。去年が10億3,000万円ぐらいで決算をしております。今回、当初でおおむね半分いけばいいかなという期待も込めながら5億円という事業費で予算を組ませていただきました。確かに、皆さん御存じのように全国でいうと4自治体が参加できないという状況が6月から出てきていますけど、その分が基山町に回ってきているかという、そこは確認ができませんので、わからないんですが、今の申し込み状況を見ますと、恐らく今月末で5億円を超えるかなと。寄附をいただきますと、それに付随する経費が発生してきますので、今回、その分の経費を組まないといけませんから、本日の臨時会のほうにお願いをしたと。

ちなみに、速報値ですけれども、10月末で今、大体4億4,000万円ぐらいのお申し込みになっている状況でございます。

○議長（品川義則君）

松田町長。

○町長（松田一也君）

もう少し単純に申し上げますと、去年が10億円で、今回、うちとしては大幅に変えましたので、どれぐらいになるかわからんということで半分の5億円ということを当初に設定いたしました。

結果としていえば、ほかのところの影響とかいうのはほとんどないと私は思っています。ほかのところから逆に投機目的でやられた方が、じゃ、基山にということはありません。逆に、10億円から7億円に下がったものは、4月から外れているビールというふうに考えていただくのが一番わかりやすいし、単純じゃないかというふうに思います。

○議長（品川義則君）

ほかにございませんか。鳥飼議員。

○10番（鳥飼勝美君）

先ほど言われましたように、返礼品は3割ということで、よその自治体も大きくいろんな努力をされております。今、町長が言われましたように、昨年が10億3,000万円、ことしが5億円ということで当初予算になっていまして、私としては5億円いくだろうかと、当初予算はちょっと計上し過ぎじゃないですかと気持ち的には思っておりましたけど、ここで7億円まで、昨年の70%まで回復見込みをされたというのは、私は執行部の努力に敬意を表するわけですが、この辺、よその自治体においては昨年度の1割にも満たないと、どうしようもないというふうな困った自治体の声も聞きます。

基山町は、昨年にして70%ぐらいまでの予算を計上できる見込みということで、ひよっとしたら8割、9割ぐらいまではいけるんじゃないかというふうな期待も含めて、前年度の7割まで回復したというこの理由、町長でもいいですけど、端的にははっきりわからない部分もあると思います。努力には非常に敬意を表しますが、昨年度の10億円から7億円まで当初予算で計上されたというこの理由なり原因というか、その辺はどういうふうに分析されておりますか。

○議長（品川義則君）

松田町長。

○町長（松田一也君）

繰り返しになりますけれども、逆に、なぜ上がったかじゃなくて、基本、去年と余り変わらなかったと。ほかのところも下げているので、変わらなかった。ただ、逆に去年あつてことしないのは、ビールでございまして、ビールの分だけは下がったというふうに考えていただいたほうがいいと思います。もちろん、ビールだけではなくて、対馬とのやつ、それからキングダム、全部バツになっていますので、そういうものを合わせたものが下がったというふうに考えていただくほうがわかりやすいんじゃないかと思ひます。

今もいろいろ新しいものがうまく入れられないかということで、総務省との協議も含めて努力しているところでございますので、少しでも頑張りたいとは思ひますが、ただ、おっしゃったように、8億円、9億円になることはないと思ひます。そこは大体、今数字を見ていただいて、グラフを見ていただくとわかるように、大体7億円前後ぐらいで落ちつくよう

な感じになるんじゃないかなというふうに思っています。あとは書き入れどきというか、一番の時期が12月なので、12月に向けてまたもう一回態勢を立て直してやっていくというふうな感じになるかと思います。

ただ、いい点が1点だけございまして、還元率を落としていますので、同じ額であれば、去年よりも基金に入ってくる予算はふえると思いますので、その部分は総額の10億円、7億円で比べるのではなくて、基金に入ってくる額ということになるとその差はさらに狭まるかなというふうに思っているところでございます。

○議長（品川義則君）

鳥飼議員。

○10番（鳥飼勝美君）

今後、資料の10ページを見ていただくとわかりますように、財政調整基金は3億円、ふるさと応援寄附金は4億2,000万円というふうなことになって、基山町の町政運営上、非常になくてはならない貴重な財源になっております。今後とも、執行部の努力を期待するわけでございます。

それと、ちょっと小さいことですが、12ページのふるさと応援寄附基金費の内訳表の寄附金の5億円、7億円については、納入先のふるさとチョイスが46%というパーセンテージが書いてありますけど、財政課長、先ほどから質問があつていきますように、この返礼金のところ、30%というのがいつも聞かれますが、このところに返礼金が何%か、広告費が何%か、できたら、見て質問せんでいいような資料の書き方をしていただきたいと思いますが、そうすると、いろいろ、今何%かってわかりますから、そういうことをちょっとここに括弧書きでしていただいて、次の資料からお願いしたいと思いますが、いかがですか。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

わかりました。今後、こういった形で資料を出させていただくときは、そのように表現をしたいと思えます。

○議長（品川義則君）

ほかに。大久保議員。

○4番（大久保由美子君）

それこそ、今の12ページで細かいことで申しわけありません。

今回、こうやって歳入のところで寄附総額の46%とか、いろいろ、ふるさとチョイスについてもパーセンテージで出させていただいていますが、以前、たしかこの手数料に楽天とか結構かかるとか、何かそんなことを教えていただいたような気がしますけど、この結果から見ると、楽天が減った分、さとふるがふえているというようなところは、あくまでも寄附をされる方のどこを選ぶかというところでしょうけど、こういうふうパーセントまで出させていただいたところからすると、返礼率は下がったんですけど、利用者というのはそういうところで選ばれたように考えられますかね。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

私も楽天の比率が下がったというのは、ちょっと意外なところもございました。さとふるとか、ふるなびというのはテレビを使った広告を結構打ってありますので、やっぱり名前を目にする、耳にする機会が寄附者にとっても多いので、そういったことも影響してさとふるなりの利用がふえているのかなというのは思います。

さとふるの申し込みのページを見ますと、ある商品については基山町への寄附が多いのか、別に何もお金は使っていませんけど、トップのほうに上がってくるので、基山町を利用させていただいている、そういった関係でさとふるが今伸びてきているのかなというふうには認識をしております。

○議長（品川義則君）

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

次行きます。

8款1項1目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

9款1項2目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

11款1項1目、2目。重松議員。

○9番（重松一徳君）

10ページ、11款1項1目、2目、質問しますけれども、1つは時間外勤務手当がやっぱりどうしても多くなると。これは昨年の災害のときにも質問したんですけれども、それだけ職員の方に時間外勤務をしてもらっているというふうになります。今回の災害ぐらいでもこれぐらいで——ぐらいと言ったら悪いんですけれども、出てくるんだというと、職員そのものが、こういう災害復旧にかかわる職員、建設課中心に、やっぱり職員が不足しているんじゃないかというのがどうしても私は気になります。この点について、なぜこんなになっているのか。

それともう一つは、ここ近年、災害が大変多く発生するもので、現年度災害、ことしの分、過年度災害、去年の分、例えば、過年度災害について、災害復旧費を見込んでいたけれども、余りにも災害が大きいもんだから復旧できないと。予算は組んでしているけれども、繰り越されていると。また、例えば、同じ災害が同じ場所で発生したという場合、その災害が過年度災害なのか、現年度災害になるのかということと、もしこういうふうな形で、本来ならば復旧しとかなければならなかった部分ができなかったことによって、今度は民家や人的災害が出たとなった場合の補償の問題とか、この辺が私は大変気になっているというぐらい、やっぱり毎年災害が発生しているのかなというふうにも思いますけれども、今回は林道がなっている部分ですので、今回の補正には入っていませんが、その前のやつには、例えば農地とか公共施設の部分の災害復旧も出ていますけれども、こういう形で、もし過年度ができなくて現年度でまたなつたとかいう場合は、どういうふうな補償問題というのが出てきますか。

○議長（品川義則君）

古賀建設課長。

○建設課長（古賀 浩君）

まず今回、災害で繰り越して行わせていただいているのは、今言われておりましたように人家とか民家とか、農業という部分の収入の基盤とか、そういうものを優先してさせていただいた形で、山の林道のほうがその後の復旧という形で進めさせていただいております。

今回、同じところが壊れたわけですが、それは林道のほうが昨年度の被害が非常に大きく、手前のほうが終わらないと先に進めないという事情の場所でもございます。そういう部分が

ございましたので、手前のほうは終わっているんですけども、現在まだ工事中ということで奥のほうが残っていた、そこがさらにまた同じような雨で被害を受けたという形になっております。

ただ、補助事業といたしましては、雨が違いますと扱っても違う、新たな申請等での扱いになってまいりますので、それは以前の測量等をもとに出していく、あるいはそういった事業をまた続けていく、新たな災害として行っていくという形で作業をさせていただいております。

○議長（品川義則君）

松田町長。

○町長（松田一也君）

それに関して一番大きいと思っているのが、丸林地区の砂防堰堤が2回不落をしているということでございます。今度11月の中ごろに3回目の入札がございまして。これは県事業なので、うちがなかなか手を出せないところでありますが、あれが逆に言えば、できない工事がたくさんありますし、それから、また同じような土砂災害があった場合には、林道とは違いますので、民家への影響もあるので、そこはうちでできる限り今県に対してお願いをしておりますし、この前のGM21でもその場で発言をさせていただいて、新聞等々でも取り上げていただいておりますので、一番気になる場所としては、今はまずはそこが一番気になる場所というふうに考えております。それ以外のところもありますが、なるべく民家に近いようなところはすぐに手をつけるようにしておりますので、そういう形で張りをつけてやっておりますので、そういうことで御理解いただければと思います。

ただ、ちょっと心配なのは、11月の中に県の3回目の入札が不落になった場合には今年度中の施工が難しくなりますので、来年の梅雨とか雨の時期に間に合わないということになりますので、それは非常にゆゆしき問題なので、そこについては今一番注視しているところでございます。

○議長（品川義則君）

熊本総務企画課長。

○総務企画課長（熊本弘樹君）

まず、時間外について冒頭お尋ねいただいております件でございますけれども、今回起きた災害だけでこれだけというお話でございましたけれども、全体的にやはり、今ちょうど

本日の議案にも上げておりますけれども、建築のほうも相当事業を行っておりますので、そういった意味では全体的に今工事量が非常にふえているというのが1つの要因だと思っております。ただ、今年度これを乗り切りますと、特に建築に関していうと、一段落する部分もございますので、今年度についてはそういったところでお願いをしたいというふうに思っておりますし、やはり必要なときには、今、嘱託で1級建築士の方にもお見えいただいておりますし、場合によっては、設計などの委託を出す場合もありますし、人員に関して決して十分ではないとは思っておりますけれども、ただ、こういった災害が起きた場合でございますので、そういった部分については、昨年度もとらさせていただきましたけれども、もともと工務担当をしておったほかの課にも協力を求めながら、職員の健康管理も十分に行ながら対応させていただければというふうに考えておるところでございます。

○議長（品川義則君）

災害復旧はならず、2次災害が起きた場合の責任はどこにあるのかという話なんですけど、その答弁がないんですが。

古賀建設課長。

○建設課長（古賀 浩君）

まずは、人家等ございました場合、再度災害が起きないように、まず仮復旧等を行います。あるいは現在、丸林のほうにも土のうを2カ所に積みまして、何らかの流木なり土砂の流出があった場合、そこで食いとめるというような部分も現在対策をとっております。そのように、そういった災害によって被害を受ける方が出ないように、まず応急的な措置、あるいは対策を打つというのが前提であると思っております。

ただ、そういった対策の中で、どうしても災害というのは予想できない部分がございますので、その分についてはこちらのほうでもその対策でとめていくというような考え方で現在させていただいているところでございます。

○議長（品川義則君）

責任の所在はどこかという質問なんですけど。対策じゃないです。古賀建設課長

○建設課長（古賀 浩君）

そういった対策の中で行政が負う責任もあると思うんですが、ただ、災害という面の不可抗力という部分もあると思いますので、明確にはこちらのほうでは、ケースによって変わるというところで回答させていただきます。

○議長（品川義則君）

重松議員。

○9番（重松一徳君）

今、課長、答弁に大変苦慮したと思いますけれども、私もわかるんですね。逆に言えば、それだけ今の基山町でも災害に対して神経質にならざるを得ないと。関係箇所については特にそうだろうと思うんですね。議会では、予算を当然組んでいます。そして、当然執行部の方はそれを建設関係の企業に入札して発注していくという段階。入札までいっているけれども、業者は仕事をいっぱい持ってありますから、どうしてもそれが思うとおりに進まない。ですが、繰り越しをしなければならぬというのが今の基山町の現状でもあろうかと思うんですね。

言うように、特に丸林地区の方は一日でも早くしてくれと、来年の梅雨どきが心配なんだという声がある中で、じゃ、災害をこれ以上ふやさないように、どういうふうにしていくのかという、ここはやっぱり知恵を出し合って、今言われたように、仮でも工事をしなければならぬという部分があろうかと思えます。

例えば、議会がこういう問題について執行部の責任を余り追及しなくていいように、逆に十分な対策もしてもらいたい。そのためには、町長も職員の配置については大変頭を悩まされているだろうと思いますけれども、やっぱり一番必要なところに必要な人員を配置するというのをしていただきたいというのと、もう一つは、今度12月の議会では会計年度の任用職員の制度、臨時職員、嘱託職員の制度も変わりますから、そういうところもまたフルに活用して、きちっと人的配置もまたしていってもらいたいというふうに思っております。何か答弁があったらお願いします。

○議長（品川義則君）

松田町長。

○町長（松田一也君）

まず2つ、まずは町に不作為の責任が起きないようにやっているつもりなので、そういう意味とでは不作為の責任的なものは現段階でないと私は思っております。ただ、建設課への比重は今非常に重くなっているんで、おっしゃったように、人員と言いながら、じゃ、建設課だけが忙しいかと言われると、ほかの課も、特に今、福祉関係も大変な状況になっておりますので、そこら辺は見ていきながら、それからあとは、決まったうちの定員がございます

ので、定員の範囲内でやっていく、そして場合によっては一時的に定員を膨らませるようなことも含めて、前広にいろいろ検討して少しでも町政に支障を来さないように、そして職員の健康を害さないように、努力していきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（品川義則君）

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

11ページ、11款2項1目。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

11款4項2目。天本議員。

○2番（天本 勉君）

先ほど質問があったと思うんですけれども、県事業の不落に関連して、工事請負費を減額されておる。そしてまた、新たに設計委託料を同額で計上されるというふうに見えますけれども、この考え方について、状況を含めて説明をお願いします。また、設計委託料は精査した金額なのか。2点お願いいたします。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

基肄城跡の災害復旧工事につきましては、今年度は管理道と散策路の復旧工事ということで予定をしておりました。それで、予定している箇所が県事業で治山ダム工事を行う箇所よりも上流部分、上の部分になりますので、こちらの工事の状態が現在見通しのほうが立たない状況ですので、来年度、水門付近の復旧工事を行う予定にしておりまして、その際に工場設計を行って復旧工事を行うという形で予定をしておりました。その部分の工事設計のほうを今年度前倒しで行いまして、そして来年度、水門の工事のほうを速やかに進めていくというような考え方で今回、工事費から委託料のほうに組み替えをしているところでございます。

それから、この設計業務費の内容については係のほうで精査をした結果、この金額で予算

のほうをお願いしているところでございます。

○議長（品川義則君）

よろしいですか。――ほかに。栗野議員。

○6番（栗野久明君）

ここで先ほど天本議員も言われましたけれども、同額の金額になっていますよね。ということは、精査したという言葉はおかしいんじゃないかなと思うんですけども、通常、業務委託料であれば、委託料の見積もりをとるか、もしくは標準価格で自分のところで積算して委託料の金額が決まると思うんですね。工事金額のほうは見積もりをとったのであれば、設計が決まっとったのかなと思うし、金額をある程度充てて予算で組んでおくということであれば、こういった細かい9,000円までの端数がつくようにはならないと思うんです。予備費とか、そういったもので予算調整の形でなっとったほうが、後でまた補正があるということであれば、そういったやり方じゃないかなと思うんですけど、そこら辺はどうなんですか。

○議長（品川義則君）

井上教育学習課長。

○教育学習課長（井上克哉君）

工事費のほうから同額を委託料にかえましたのは、現状、先ほど申しましたように、県の治山事業のほうが見通しが立っておりませんので、当初、計画をしておいた災害復旧工事が全てができるということは今のところ、これからの工期を考えれば非常に難しいだろうと思っております。なので、実質、工事を行うとしても限られた工事ということになるかと思っておりますので、その分は減額しまして委託料の部分、今回積算をしまして394万9,000円ということで挙げさせていただいておりますけれども、その部分に振りかえをさせていただいているということになります。

○議長（品川義則君）

栗野議員。

○6番（栗野久明君）

同金額を振りかえているということだろうと思うんですね。実際、工事金額と設計の業務委託料が同額ということはあり得ないと思うんですね。だから、そういったやつの予算の組み方というか、そういったものについては財政課長等と話しして、同金額になっとると

いうこと自体がちょっとおかしいんじゃないかなと、それに対して疑義があるということです。

○議長（品川義則君）

平野財政課長。

○財政課長（平野裕志君）

ちょっと補足といいますか、もともこの工事費は約1,280万円を持っております。先ほど答弁があつていますように、本当は早く工事を発注して散策路の改修を進めたいんですけども、要は、そこにまだいけないと。これが国庫補助事業でやっておりますので、まずこの394万9,000円というのは、あくまでも設計費用をきちっと見積もりを立てた金額でございます。工事費を先ほど1,280万円ぐらい持っていますと言いましたけれども、これがなかなかまだ発注できないので、この中から補助事業の枠内で必要な394万9,000円を委託料のほうに振りかえをさせていただいて、工事費としてはあと残り880万円ぐらいありますので、これは一応確保しといて、事業進捗が図れるのであるならば、発注をして幾らかでも復旧を進めたいと。そういう意味で、補助事業の枠を崩さない中での組み替えを今回お願いしておりますので、工事費と設計委託料がイコールの金額ではございません。その中から394万9,000円を抜き取った形になっております。（「わざとこういうふうにしているわけ」と呼ぶ者あり）そうです。補助枠を崩さないためにわざとイコールにしています。減らないようにしています。

○議長（品川義則君）

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

14款1項1目．予備費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

ないようですので、議案第40号に対する質疑を終結します。

次に、議案第40号に対する討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（品川義則君）

ないようですので、討論を終結します。

議案第40号を採決します。

本案を原案どおり決するに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（品川義則君）

全員起立と認めます。よって、議案第40号は可決されました。

以上をもちまして令和元年第2回基山町議会臨時会を閉会します。

～午前11時29分 閉会～

基山町議会会議規則第127条の規定により、ここに署名する。

令和 年 月 日

基山町議会議長 品川 義 則

基山町議会議員 久保山 義 明

基山町議会議員 河 野 保 久